

子どもの権利に関するアンケート集計結果（令和7年11月実施）

申込集計表

集計日：2025年12月08日

様式名	子どものけんりに関するアンケート（1回目）		
回答数	小学生	中学生	合計
	610	466	1,076

あなたが通う学校はどこですか？

回答	回答数
大野小学校	18
守谷小学校	116
黒内小学校	190
郷州小学校	47
大井沢小学校	52
御所ヶ小学校	40
松前台小学校	42
松ヶ丘小学校	82
高野小学校	23
愛宕中学校	98
御所ヶ丘中学校	135
けやき台中学校	108

あなたの学年を教えてください。

回答	回答数
小学1年生	1
小学2年生	0
小学3年生	0
小学4年生	609
小学5年生	0
小学6年生	0
中学1年生	0
中学2年生	465
中学3年生	0

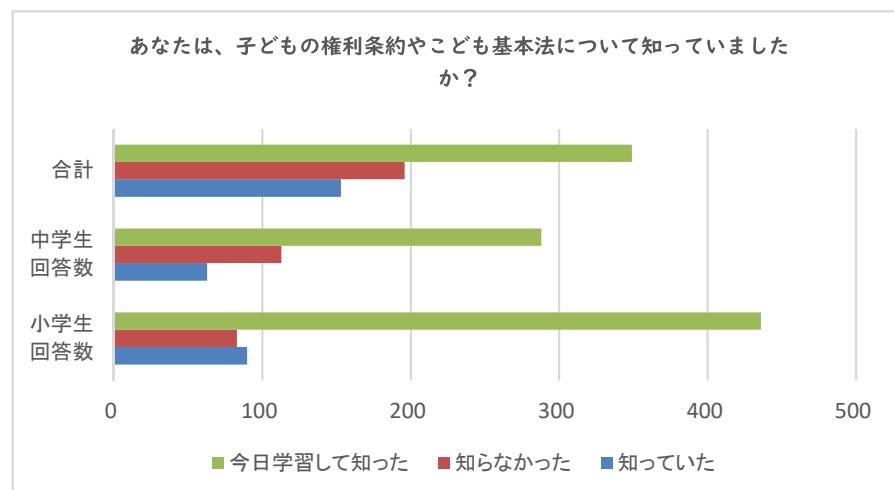
申込集計表

集計日：2025年12月08日

様式名	子どものけんりに関するアンケート（1回目）		
回答数	小学生	中学生	合計
	610	466	1,076

しつもん！ あなたは、子どもの権利条約やこども基本法について知っていましたか？

回答	小学生 回答数	中学生 回答数	合計
知っていた	90	63	153
知らなかった	83	113	196
今日学習して知った	436	288	349



認知度の低さ

小学生と中学生のうち、「知っていた」と答えたのは合わせて153人に対し、「知らなかった」が196人、「今日学習して知った」が349人となっています。これは、事前に子どもの権利条約やこども基本法を知っているこどもが少数派であることを示しています。

学習の効果

「今日学習して知った」と答えた人数が最も多く、特に小学生の436人に対し中学生は288人です。これは今回の学習が認知度向上に大きく寄与したこと示しています。

小学生と中学生の差

小学生の方が「今日学習して知った」割合が高く、逆に「知らなかった」や「知っていた」の割合は中学生よりも低い傾向にあります。これは小学生の方が事前の知識が少なく、学習による理解が大きいことを示唆します。

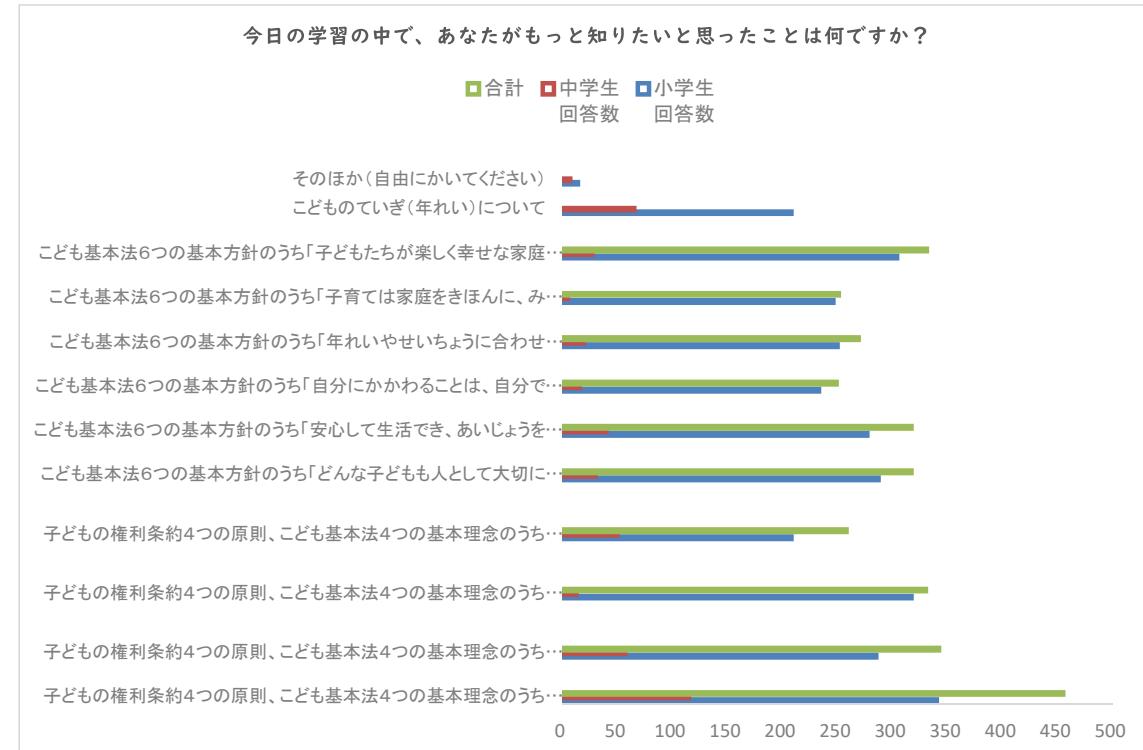
総評

全体として、子どもの権利条約やこども基本法の事前認知は低いものの、学習の機会を通じて理解が深まったことがわかります。今後は事前の啓発活動を増やすことと、継続的な学習支援が重要と考えられます。

様式名	子どものけんりに関するアンケート（1回目）		
回答数	小学生	中学生	合計
	610	466	1,076

しつもん2 今日の学習の中で、あなたがもっと知りたいと思ったことは何ですか？

回答	小学生 回答数	中学生 回答数	合計
子どもの権利条約4つの原則、こども基本法4つの基本理念のうち「さべつのないこと」について	340	115	455
子どもの権利条約4つの原則、こども基本法4つの基本理念のうち「こどもにとってもっともよいこと」について	285	57	342
子どもの権利条約4つの原則、こども基本法4つの基本理念のうち「いのちをまもられせいちょうできること」について	317	13	330
子どもの権利条約4つの原則、こども基本法4つの基本理念のうち「いんをひょうめいしさんかでできること」について	208	50	258
こども基本法6つの基本方針のうち「どんな子どもも人として大切にされること」	287	30	317
こども基本法6つの基本方針のうち「安心して生活でき、あいじょうを受けて育つことができ	277	40	317
こども基本法6つの基本方針のうち「自分にかかわることは、自分で意見を言えること」	233	16	249
こども基本法6つの基本方針のうち「年れいやせいちょうに合わせて、一番よいことがゆうせ	250	19	269
こども基本法6つの基本方針のうち「子育ては家庭をきほんに、みんなで助け合うこと」	246	5	251
こども基本法6つの基本方針のうち「子どもたちが楽しく幸せな家庭や社会をつくること」	304	27	331
こどものていぎ（年れい）について	208	65	0
そのほか（自由にかいてください）	14	7	0

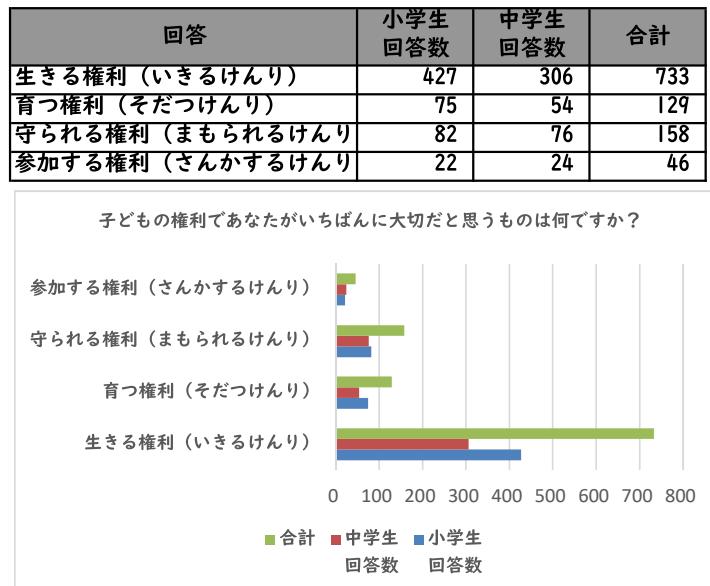


小学生の回答数が中学生より多く、全体の回答に大きく寄与している。

「さべつのないこと」（455回答）や「こどもにとってもっともよいこと」（342回答）、「いのちをまもられせいちょうできること」（330回答）など、子どもの権利や基本理念に関する項目への関心が高い。こども基本法の基本方針に関しては、特に「子どもたちが楽しく幸せな家庭や社会をつくること」（331回答）や「安心して生活でき、あいじょうを受けて育つことができること」（317回答）に多くの回答が集まっている。一方で、「子育ては家庭をきほんに、みんなで助け合うこと」（251回答）や「自分にかかわることは、自分で意見を言えること」（249回答）などは比較的回答数が少なめで、認知や関心の差が見られる。中学生の回答数は小学生に比べて少ないものの、「こどものていぎ（年れい）について」は比較的多く（65件）回答があり、中学生の関心が伺える。総合的に見ると、子どもの権利や基本理念に関する理解や関心は全体的に高いですが、特定の基本方針についてはまだ認知度や理解度に差がある可能性があります。特に中学生の回答数が少ないため、今後は中学生の意見をより引き出す工夫が望まれます。

様式名	子どものけんりに関するアンケート（1回目）		
回答数	小学生	中学生	合計
	610	466	1,076

しつもん3 子どもの権利であなたがいちばんに大切だと思うものは何ですか？



「生きる権利」が最も多く回答されており、小学生427件、中学生306件、合計733件と圧倒的に重視されています。これは命の尊さや基本的な権利への認識が高いことを示しています。

「守られる権利」は小学生82件、中学生76件、合計158件で次に多く、身の安全や保護の重要性が理解されているようです。

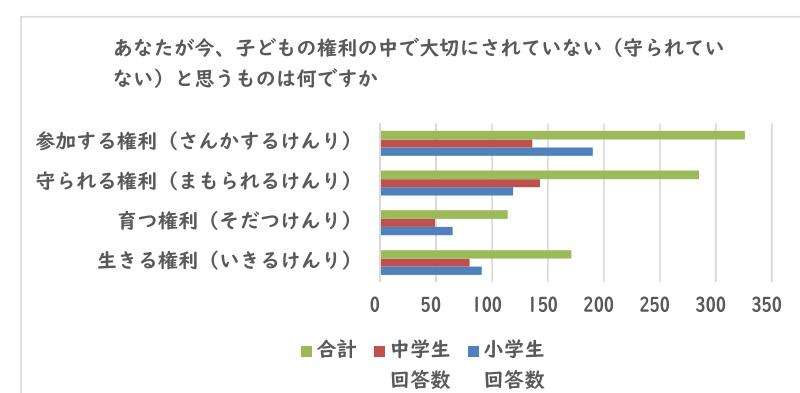
「育つ権利」は129件で、成長や発達に関わる権利として一定の認識がありますが、「生きる権利」や「守られる権利」ほどではありません。

「参加する権利」は最も少なく、小学生22件、中学生24件、合計46件と、社会参加や意見表明の権利への関心が低い可能性があります。

総じて、命や安全に関わる基本的な権利への理解が強い一方で、成長や社会参加に関わる権利の認識はやや低い傾向が見られます。教育現場では、「参加する権利」や「育つ権利」の意義についてより深く教えることが望ましいと考えられます。

しつもん4 あなたが今、子どもの権利の中で大切にされていない（守られていない）と思うものは何ですか？

回答	小学生 回答数	中学生 回答数	合計
生きる権利（いきるけんり）	91	80	171
育つ権利（そだつけんり）	65	49	114
守られる権利（まもられるけんり）	119	143	285
参加する権利（さんかするけんり）	190	136	326



参加する権利が最も多く、合計326件（小学生190件、中学生136件）で、こどもたちが自分の意見を表明し社会参加することへの関心が高いことが分かります。

次に多いのは守られる権利で合計285件（小学生119件、中学生143件）です。小学生より中学生の関心がやや高い傾向があります。

生きる権利は171件（小学生91件、中学生80件）、育つ権利は114件（小学生65件、中学生49件）となっており、基本的な権利への関心も一定程度あります。

小学生は「参加する権利」と「守られる権利」に特に関心が高く、中学生は「守られる権利」と「参加する権利」の順で関心が高い傾向です。

全体的に、「参加する権利」への意識が高いことが特徴であり、こどもたちの社会参加や自己表現の重要性が認識されていると考えられます。

申込集計表

集計日：2025年12月08日

様式名	子どものけんりに関するアンケート（1回目）		
回答数	小学生	中学生	合計
	610	466	1,076

そのほかにもっと知りたい子どものけんりはありますか？

回答	小学生 回答数	中学生 回答数
ある（自由記載）	14	10
ない	568	436

権利の理解や説明への要望

- ・子どもにも分かりやすい言葉で説明してほしい（例：「4年生でも分かる言葉で」）
- ・権利の具体的な内容や差別の意味についてもっと知りたいという声がある。

子ども自身の権利や社会問題への関心

- ・虐待や暴力の問題に関するコメント（「親から虐待されないルール」「暴力をなくす」）
- ・子どもが大人を助けてよいのかなどの社会的役割に関する疑問。
- ・平和に暮らせる権利や性別に関わる権利への関心。

権利の現状認識と改善要望

- ・「全部守られていると思う」という肯定的な意見もある一方で、質問の設計や回答方式に対する不満（「質問4で全て守られているという選択肢が欲しかった」「回答改善しろ」など）が見られる。

感謝や応援の声

- ・「学びになった」「もっとみんなに知ってもらいたい」「ありがとうございました」「頑張ってください」といった前向きな感想が多く、教育的な意義を評価している。

理解不足や戸惑いの声

- ・「全ての日本語がわかっていない」「知らない」「意味が分からぬ」など、質問内容の難しさや理解の困難さを示す声もある。

総評として、子どもたちは権利について学ぶ意欲がありつつも、説明のわかりやすさや質問形式に改善の余地があることが示されています。また、虐待や差別など具体的な問題への関心が高く、今後の教育や啓発活動で重点的に扱うべきテーマが浮き彫りとなっています。



ご協力ありがとうございました